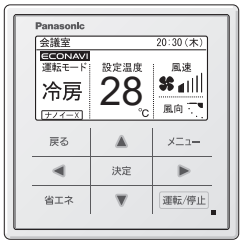
Panasonic

据付(電気)工事説明書

ワイヤードリモコン

品番 **CZ-10RT4C**



- ●「据付(電気)工事説明書」をよくお読みのうえ、正しく安全に施工してください。特に「安全上のご注意」は、施工前に必ずお読みください。
- ●据付工事完了後、試運転を行い異常がないことを確認してください。また、「据付(電気)工事説明書」は、「取扱説明書」とともにお客様で保管いただくよう依頼してください。
- ●移設、修理の場合は「据付(電気)工事説明書」を工事担当の方へお渡しください。
- ●「据付(電気)工事説明書」に記載されていない方法や、指定の部品を使用しない方法で据え付けされたことにより事故や損害が生じたときには、当社では責任を負えません。また、その据え付けが原因で故障が生じた場合は、製品保証の対象外となります。
- ●接続する機器に付属の「据付(電気)工事説明書」もあわせてご覧ください。

安全上のご注意 必ずお守りください

人への危害、財産の損害を防止するため、必ずお守りいただくことを説明しています。

■ 誤った使い方をしたときに生じる危害や損害の程度を区分して、説明しています。

⚠ 警告	「死亡や重傷を負うおそれがある内容」です。
⚠ 注意	「軽傷を負うことや、財産の損害が発生するおそれがある内容」です。

■ お守りいただく内容を次の図記号で説明しています。

⃠	してはいけない内容(禁止事項)です。
❗	実行しなければならない内容(強制事項)です。

⚠ 警告

据付(電気)工事をする前に

❗
- **据付(電気)工事は、お買い上げの販売店や専門業者に依頼する**(感電、火災の原因)
- **電気工事は、電気工事士が下記に従って行う**
  - 電気設備に関する技術基準
  - 内線規程
  - 据付(電気)工事説明書

  (感電、火災の原因)

本体を据え付けるときに

⃠
- **分解や改造は行わない**(感電、火災の原因)
- **水洗いしない**(感電、故障の原因)
- **配線は途中接続しない**
  (接触不良や絶縁不良、許容電流オーバーなどにより、感電や火災の原因)

❗
- **据付工事は、「据付(電気)工事説明書」に従って行う**(感電、火災の原因)
- **電気工事は、室内・室外ユニットなどの漏電しゃ断器を切ってから行う**(感電の原因)
- **据え付けは、重量に十分耐えられる所に確実に行う**
  (製品の落下による、けがの原因)
- **付属品は当社指定の部品を使用する**
  (製品の落下、感電、火災などの原因)
- **配線は、室内ユニットのリモコン配線用端子に接続し、その他の端子に接続しない**
  (感電、故障の原因)
- **配線は、所定のケーブルを使用して確実に接続し、端子接続部にケーブルの外力が伝わらないように確実に固定する**(故障や発熱、火災の原因)
- **配線をはさまないように、カバーは元通り確実に取り付ける**(感電、火災の原因)
- **ぬれた手で据付(電気)工事をしない**
  (感電、故障の原因)

⚠ 注意

⃠
- **次のような場所で使わない**(感電、火災などの原因)
  - 結露するところ
  - 可燃性ガスなどの漏れるおそれのあるところ
  - 水や油(機械油含む)の飛沫の多いところ
  - 酸性やアルカリ性の溶液・特殊なスプレーなどを頻繁に使うところ
  - 腐食性ガスなどの漏れるおそれのあるところ
  - 有機溶剤の飛沫するところ
  - 電磁波が出る機械のあるところ
  - 電圧変動の多いところ

❗
- **電気工事は人体に帯電した静電気をアースに放電してから行う**(故障の原因)
- **配線引込口をパテなどで塞ぐ**
  (露や虫が入り感電や故障の原因)
  (結露による基板故障の原因)

据え付け時のご注意

- ●次のような場所に据え付けない。
  - •直射日光や直接外気が当たる、窓際など
  - •過度な衝撃や振動のあるところ •据付面に凹凸があるところ
  - •熱源の近くなど
- ●床面から1～1.5mの高さに床面に対して垂直に据え付ける。(室内の平均温度を感じる場所)
- ●複数並べて据え付けるときは、左右5 mm、上下50 mm以上離す。
- ●使用温度、湿度範囲を満たす場所に据え付ける。
- ●高周波を発生する機器(インバーター機器、自家発電機、医療機器、無線通信機器)のあるところは避ける。
  (本機の誤動作や故障の原因になったり、それらの機器へ弊害を与える場合があります)
- ●テレビ、ラジオ、パソコンなどの機器から1 m以上離す。(映像の乱れ、雑音の原因)
- ●配線は、電源配線などとより合わせたり、同一金属管内に収納したりしない。(故障の原因)
- ●配線は、地中に埋設しない。(落雷などにより、感電や火災、故障の原因)

パナソニック株式会社 設備ソリューションズ事業部

〒370-0596 群馬県邑楽郡大泉町坂田1丁目1番1号

© Panasonic Corporation 2017-2023

Printed in China
W0917-50823
ACXF60-26864
85464369990021

仕様

品番	CZ-10RT4C
外形寸法	(高さ) 120 mm × (幅) 120 mm × (奥行き) 16 mm
質量	180 g
使用温度・湿度範囲	0 ℃ ～ 40 ℃・20 % ～ 80 % ※ 屋内設置専用
電源	DC 16 V（室内ユニットより供給）
時計精度	± 30 秒 / 月（常温 25 ℃） ※ 定期的に合わせる

datanaviについて

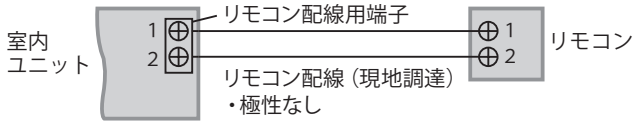
本機はdatanaviに対応しています。
ご使用方法などの詳細は、下記URLより、
ご確認ください。

https://datanavi.ac.smartcloud.panasonic.com/

ローテーション運転について

本機はローテーション運転の設定が可能です。
ご使用方法の詳細は、付属の取扱説明書をご覧ください。

1 配線のしかた



● ケーブルの種類
- ・柔軟性のある、0.5 ～ 1.25 mm²のケーブル（単線は使わない）
- ・シース部を含む絶縁物の厚みが1 mm以上あるケーブル
- ・推奨品：VCTF（EM-ECTF *）/ VCT（ECO120 *）

* エコ電線。紫外線（日光・照明など）の影響を受ける場合は、遮光するか耐紫外線用を使う。

● 総配線長：500 m以内
- ・グループ内にワイヤレスリモコンがある場合は、400 mまで
- ・室内ユニットわたり総配線長は200 mまで

● グループ制御時の接続可能台数
- ・室内ユニット：8台まで（熱交換気ユニットの台数を含む）

お知らせ

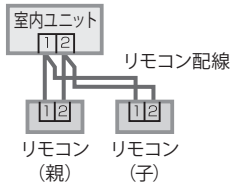
接続可能な熱交換気ユニット（マイコンタイプ）
- ・天井埋込形　MZD 9 / 10 シリーズ
- ・天吊カセット形　MZB 9 / 10 シリーズ

※ 熱交換気ユニットは、室内ユニットのリモコン配線用端子に接続してください。
※ 室内ユニットが1台以上必要です。

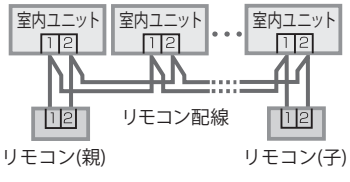
親・子リモコン制御について

1台もしくは複数台の室内ユニットを2個のリモコンで操作することができます。
設置後、「3 設定する」（裏面）の「リモコン親子設定」を行い、片方を「親リモコン」、もう一方を「子リモコン」に設定してください。
他リモコンと併用の場合は、本機を「親リモコン」に設定してください。

■ 室内ユニットが1台のとき



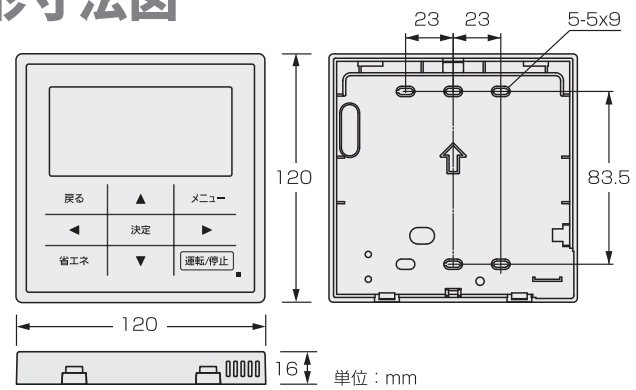
■ 室内ユニットが複数台のとき



お知らせ

どの室内ユニットにリモコンを接続しても、動作します。

外形寸法図



付属品

＜＞：個数

小ネジ ＜2＞	木ネジ ＜2＞	結束クランパー	断熱シート
M4×25 （埋込型 JISボックス用）	M3.8×16 （露出型 壁面用）	＜1＞	＜1＞
取扱説明書、据付（電気）工事説明書　各＜1＞			

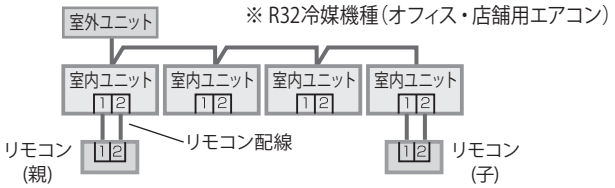
※ リモコン配線は現地調達のため付属されていません。

グループ制御（リモコンわたり配線）について

- R32冷媒機種（オフィス・店舗用エアコン）は同一冷媒系統内のリモコンわたり配線が不要です。
- 冷媒種にかかわらず、冷媒系統が異なる場合や熱交換気ユニットと混在する場合は、すべての室内ユニットに、リモコンわたり配線が必要です。
- R410A冷媒機種（オフィス・店舗用エアコン）は同一冷媒系統内であっても、リモコンわたり配線が必要です。

※ 6シリーズ以降のオフィス・店舗用エアコンの場合は、室内ユニットに同梱されている説明書をご覧ください。

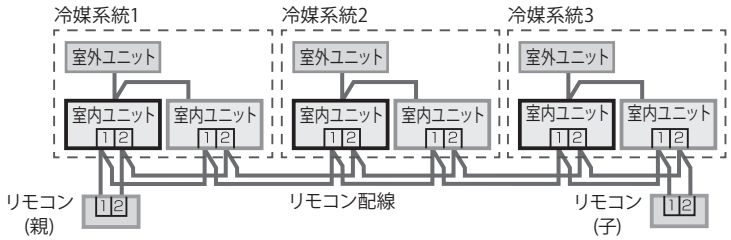
同一冷媒系統の室内ユニットをグループ制御する場合



お知らせ

どの室内ユニットにリモコンを接続しても、動作します。

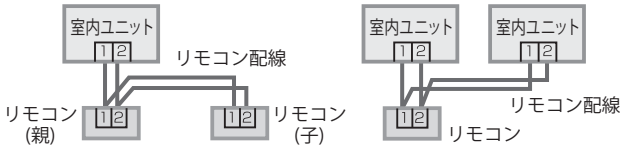
複数冷媒系統の室内ユニットをグループ制御する場合



お知らせ

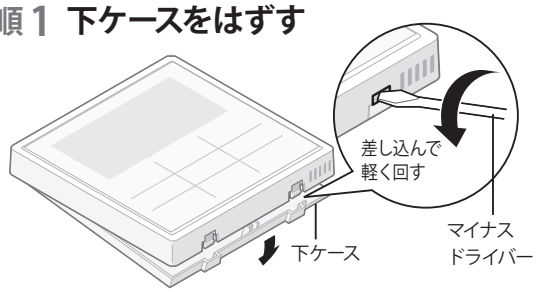
- どの室内ユニットにリモコンを接続しても、動作します。
- エコナビ対応と非対応の室内ユニットが混在する場合は、エコナビ対応の室内ユニットを、グループ制御の室内ユニット親機に設定する必要があります。手動で室内ユニットの親子設定を変更する場合、設置後、「3 設定する」（裏面）の「詳細設定（項目コード14：親子設定）」を行ってください。

お願い　以下のようなリモコンで渡る配線は禁止です。



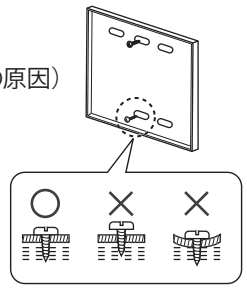
2 据え付ける

手順 1 下ケースをはずす



■ 下ケースを取り付けるとき（手順2 ❶）
- ネジは、下ケースにあたるまでしっかり締めてください。
（上ケース取り付け時に、ネジ頭が基板にあたり、故障の原因）
- ネジは、締めすぎないでください。
（下ケースの変形による、落下の原因）

■ 上ケースを取り付けるとき（手順2 ❸）
- 余分な配線をリモコンケースに収納したり、基板上の部品に配線が触れないようにしてください。
（配線はさみ込みによる基板破壊の原因）



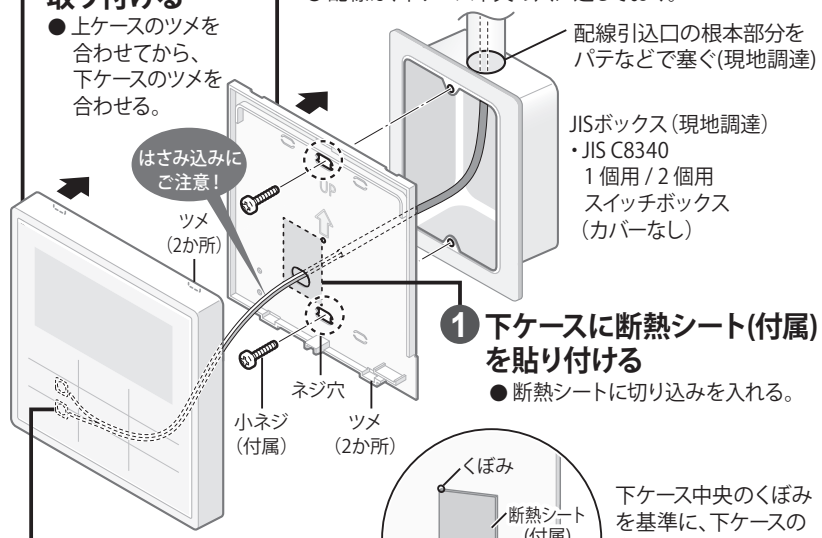
手順 2 壁に取り付ける

埋込型の場合

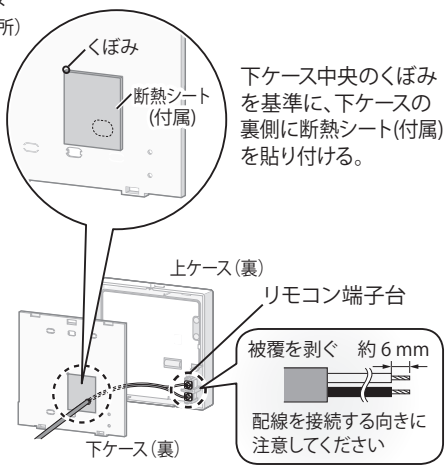
準備：使用するJISボックスに対応するネジ穴(2か所)を、ドライバー等で開けておく。

❹ 上ケースを取り付ける
- 上ケースのツメを合わせてから、下ケースのツメを合わせる。

❷ 下ケースをJISボックスに取り付ける
- 配線は、下ケース中央の穴に通しておく。



❶ 下ケースに断熱シート(付属)を貼り付ける
- 断熱シートに切り込みを入れる。



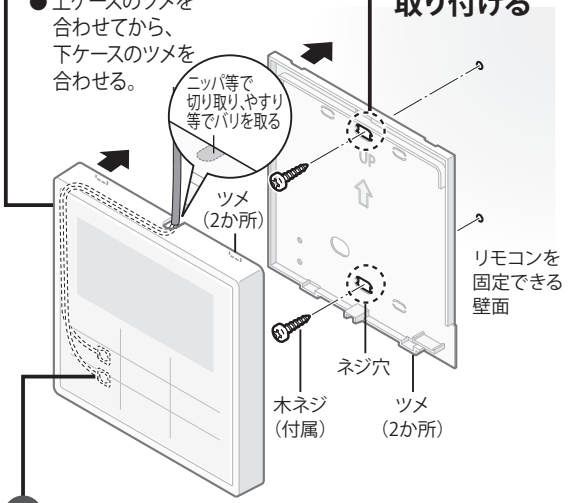
❸ リモコン配線を接続する
- 端子台のネジを強く締めすぎると基板が割れることがあります。

露出型の場合

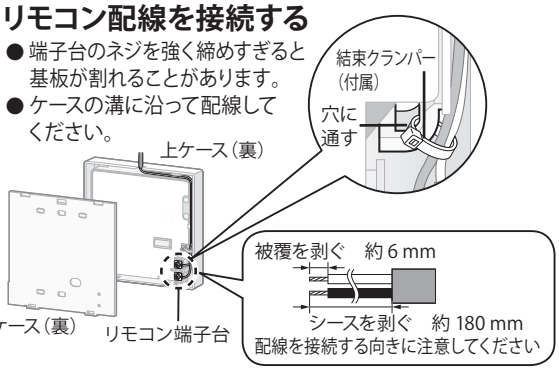
準備：ネジ穴(2か所)をドライバー等で開けておく。

❸ 上ケースを取り付ける
- 上ケースのツメを合わせてから、下ケースのツメを合わせる。

❶ 下ケースを壁に取り付ける



❷ リモコン配線を接続する
- 端子台のネジを強く締めすぎると基板が割れることがあります。
- ケースの溝に沿って配線してください。

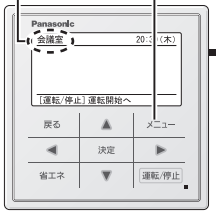


3 設定する

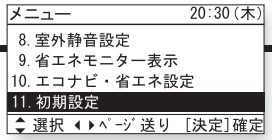
準備：室内ユニットの説明書を参照し、事前に漏電しゃ断器(電気)を入れてください。リモコンが起動し、「設定中」の表示が消えるまでお待ちください。
※ 10 分以上「設定中」が点滅表示する場合は、室内ユニットのアドレス設定を見直してください。

時計設定 / リモコン名称設定のしかた

1 メニュー を押す



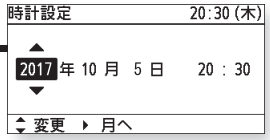
2 「初期設定」を選ぶ
▲▼→[決定]



3 設定する項目を選ぶ
▲▼→[決定]

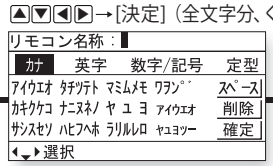
時計設定

4 設定する
▲▼→▶→[決定]
（くり返す）

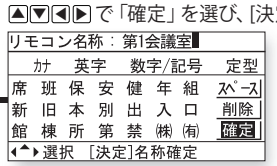


リモコン名称設定

▲▼◀▶→[決定]（全文字分、くり返す）



▲▼◀▶で「確定」を選び、[決定]



※ 文字入力のしかた

■ 文字種を変更するとき
▲▼◀▶で文字種を選び、[決定]

■ 定型の名称から選ぶとき
▲▼◀▶で「定型」を選び、[決定]

■ スペースを入力するとき
▲▼◀▶で「スペース」を選び、[決定]

■ 1 字消すとき
▲▼◀▶で「削除」を選び、[決定]

※ 全角 8 文字 / 半角 16 文字まで入力可能。
（スペースも文字数に含む）

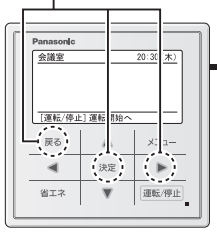
お知らせ
- 手袋を着けた状態では、操作できません。
- スタイラスペン、タッチペン等では、操作できません。
- 接続する室内ユニットによっては、液晶画面の表示が異なる場合があります。

3 設定する（つづき）

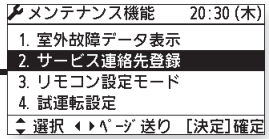
サービス連絡先登録 / リモコン親子設定 / パスワード設定などのしかた

「※ 文字入力のしかた」を参照（3ページ下）

1 3つのボタンを同時に 4 秒以上押す



2 設定する項目を選ぶ
▲▼→[決定]

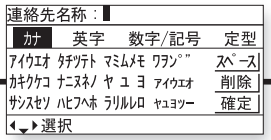


3 設定する

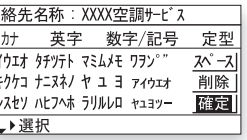
サービス連絡先登録

▲▼→[決定]

▲▼◀▶→[決定]（全文字分、くり返す）

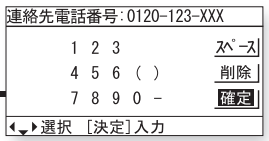


▲▼◀▶で「確定」を選び、[決定]



▲▼◀▶→[決定]（全文字分、くり返す）

▲▼◀▶で「確定」を選び、[決定]



リモコン設定モード

項目コード・設定データを選択
▲▼→▶→[決定]（くり返す）

項目コード（リモコン設定モード）			設定データ
01	リモコン親子設定	リモコンを 2 個設置するとき	・0000：子 ・0001：親（出荷設定）
2F	パスワード設定	管理者パスワードを設定するとき	・0000 ～ 9999 ・0000（出荷設定）
2B	熱交換気連動設定①	空調機の運転 / 停止と、接続している熱交換気ユニットを連動させるとき	・0000：連動なし（出荷設定） ・0001：連動あり

詳細設定

ユニットNo.・項目コード・設定データを選択
▲▼→▶→[決定]（くり返す）

項目コード（詳細設定）			設定データ
14	室内ユニットの親子設定	グループ制御時に室内ユニットの親子設定をするとき	・0001：親機 ・0002：子機
31	換気扇との接続	室内コントロール基板上の換気扇出力『FAN DRIVE：2P(白)』に市販の換気扇等を接続するとき ※ 専用配線（別売品）が必要	・0000：接続なし ・0001：接続あり
32	室温センサー設定	リモコンの室温センサーで室温を測るとき ※ 親・子リモコン制御時は、親リモコンが有効 ※ リモートセンサー併用時は、室内ユニット側に設定 ※ グループ制御時は、設定できません	・0000：室内ユニット側 ・0001：リモコン側
D7	熱交換気連動設定②	室温・外気温を検知し、普通換気と熱交換気を自動で切り換えるとき（「換気モード」が「自動換気」のときのみ） ※ 熱交換気ユニット（ユニットNo.31-XX）の設定項目になります。	・0000：オフ ・0001：オン

自動アドレス設定

項目コード「A1」・系統No.を選択
▲▼→▶→[決定]（くり返す）

項目コード（自動アドレス設定）			系統No.
A1	自動アドレス設定	自動アドレス設定とは、室内ユニットと室外ユニットの間を系統アドレス毎に自動で関連付けする操作です。 自動アドレスをする系統（室外ユニット）の系統番号を選んでください。	・室外ユニットの系統番号

お知らせ

- リモコン設定モード・詳細設定・自動アドレス設定・簡単設定は、終了時に再起動を行います。

お願い

- 自動アドレス設定は、室内・室外ユニットの電源を入れ、90 秒以上たってから行ってください。
- 自動アドレス設定を行ったあとは、90 秒以上たってから運転してください。

集中制御アドレス設定　（ON/OFF集中コントローラーなどの集中制御機器を接続する場合）

簡単設定

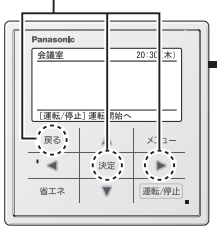
ユニットNo.「ALL」・項目コード「03」・設定データを選択
▲▼→▶→[決定]（くり返す）

項目コード（簡単設定）			設定データ
03	集中制御アドレス設定	集中制御アドレスの設定をするとき	・0001 ～ 0064

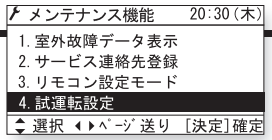
お願い　集中制御アドレス設定は自動アドレス設定終了後に行ってください。
接続する集中制御機器に付属の説明書もあわせてご覧ください。

4 試運転する

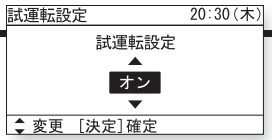
1 3つのボタンを同時に 4 秒以上押す



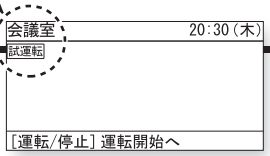
2 「試運転設定」を選ぶ
▲▼→[決定]

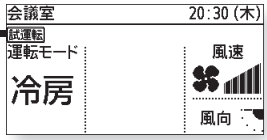


3 「オン」を選ぶ（試運転モードになる）
▲▼→[決定]→[戻る]



4 試運転する
運転/停止 押す





■ 試運転を終了する

手順 **1**・**2** を行い、手順 **3** で「オフ」を選ぶ。
（「試運転」表示消灯）

お願い

- 試運転以外の目的には使わないでください。（室内・室外ユニットに無理がかかるため）
- 暖房および冷房で試運転できます。温度変更はできません。
- 連続試運転を防止するため60分後自動で「オフ」になります。
- 電源投入後および運転停止後、約 3 分間は室外ユニットの運転はしません。